

2015年10月18日

株式会社日本レースプロモーション

10月17日(土)～18日(日)
2015年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ第6戦
スポーツランド SUGO 大会決勝結果速報

アンドレ・ロツテラー (ペトロナス・チーム・トムス)
ポール・トゥ・ウィンで、今シーズン2勝目を飾る!

2015年全日本選手権スーパーフォーミュラ第6戦 スポーツランドSUGO大会が、宮城県柴田郡 スポーツランドSUGO インターナショナルレーシングコース(1周:3.704km)にて、コースを68周トータル251.88kmで争われ、アンドレ・ロツテラー(ペトロナス・チーム・トムス)が、ポールポジションから1時間17分52秒551(平均速度:194.070km/h)のタイムで、今シーズン2回目の優勝を飾りました。

2位には、山本 尚貴(チーム 無限)が1時間18分16秒432で続き、今シーズン初の表彰台を果たしました。3位には、野尻 智紀(ドコモ チーム ダンデライアン レーシング)が1時間18分17秒217で続き、第2戦岡山大会に続く今シーズン2回目の表彰台となりました。

尚、今大会の結果により、ペトロナス・チーム・トムスのチームポイントランキングの年間タイトルが確定致しました。

次戦は、11月7日(土)～8日(日)開催の第7戦鈴鹿サーキット大会(最終戦)となります。

* 記録の詳細は、添付「2015全日本選手権 スーパーフォーミュラ 第6戦 決勝正式結果」をご参照ください。



ポール・トゥ・ウィンで、今シーズン2勝目を飾る ペトロナス・チーム・トムス #2 アンドレ・ロツテラー

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

BRIDGESTONE

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

セディナ

日人 NINKI-ICHI
人気酒造

【ご参考】

1. スーパーフォーミュラとは？

全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズは、純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レースです。一般社団法人日本自動車連盟(JAF)が公認し、株式会社日本レースプロモーションのプロモートにより、1996年にフォーミュラ・ニッポンとしてスタート。2013年より名称をスーパーフォーミュラに変更し現在に至っています。

2. チャンピオンシップ

2015年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズは、11チーム(エントラント)、国内外の19名(19台)(海外6国、7名:イギリス、ドイツ、イタリア、ベルギー、ブラジル、インド)のドライバーで争われており、各レースの成績に応じてドライバーとチームにポイントが付与され、ポイント合計の多い順に年間シリーズ順位が決定いたします。

2015年シリーズ選手権 ポイントシステム

順位	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位以下	pp
1大会1レース	10	8	6	5	4	3	2	1	0	1
1大会2レース	5	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1

* P. P. :ポールポジション(予選1位)には、ドライバーにのみ1ポイントが与えられる。チームポイントには加算されない。

* 1大会2レース制の場合、レース1、レース2共に1レース制の得点の半分が与えられる。

* 1大会2レース制の場合、レース1、レース2の勝者には通算ポイント別に3ポイントが与えられる。これによりポールポジション+2連勝で最大18ポイントが与えられる。

* 最終戦終了時点で、複数のドライバーまたはチーム(エントラント)が同一ポイントを獲得している場合は、高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。

3. シリーズ賞典

シリーズ賞典は、年間チャンピオンドライバーには、株式会社日本レースプロモーションより賞金とシリーズドライバーズチャンピオンカップが授与されるほか、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟より同連盟杯が贈られ、観光庁より観光庁長官杯が交付されます。また年間チャンピオンチームには経済産業省より経済産業大臣杯が交付され、株式会社日本レースプロモーションより賞金が授与されます。

4. レース車両

シャシーはダラーラ社(イタリア)製のSF14。エンジンはホンダとトヨタが供給する、排気量2,000cc、直列4気筒ダイレクトインジェクション、Honda HR-414EまたはTOYOTA RI4Aを使用しています。タイヤはすべてブリヂストン製のワンメイクです。SF14は、世界最高峰のフォーミュラ1マシンと同等のコーナリングスピードで、国内外トップドライバーにより白熱したドライビングバトルが繰り広げられています。

5. オーバーテイクシステム

エンジンに燃料リストラクター(燃料流量規制システム)を活用し、燃料供給量を一時的に上げ、通常時の約110%のパワー(約30馬力)(※1)を発生させることによりオーバーテイクをより促すシステムです。ステアリングにあるボタンを操作し、1回のレースにつき原則5回、各20秒間使用可能となります。使用中はドライバーのヘルメット後方にあるランプ(オーバーテイクランプ=OTL)が点滅し、観客からも視認できます。またポイントリーダードライバーは、赤色オーバーテイクランプ(リーダーズレッド)を装着しています。尚、このシステムは、スーパーフォーミュラ独自の仕組みです。

(※1)オーバーテイクシステムのパワーの上がり方は、レースによって設定が異なり、富士と鈴鹿大会は約105%、その他大会は約110%となります。

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

BRIDGESTONE

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

セディナ

八 人気酒造

6. 公式予選 -ノックアウト方式-

公式予選はノックアウト方式(※2)で行われます。予選時間を3つに分け、短いアタック時間の中、好タイムが出なければ文字どおりノックアウト(脱落)されることから、この呼称となりました。Q1でベスト14位に、Q2でベスト8位に無理なく勝ち残り、Q3でベストタイムを記録して上位につけるといった流れが理想的な予選運びとなります。

(※2) 19台エントリーの場合:Q1(20分間)で15位から19位までのスタート位置を決定。10分間のインターバルの後、Q2(7分間)を行い9位から14位までのスタート位置を決定します。さらに10分間のインターバルの後、Q3(7分間)を行い、1-8位までの決勝レーススタート位置を決定します。

7. 決勝レース

決勝レースは、スポーツランドSUGO インターナショナルレーシングコース(1周:3.704km)コースを68周、トータル251.88kmで行なわれます。

2015年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ開催スケジュール

日程	ラウンド/サーキット	予選方式	決勝レース方式
4/ 18~19	第1戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	250km
5/ 23~24	第2戦/岡山国際サーキット	ノックアウト	250km
7/ 18~19	第3戦/富士スピードウェイ	ノックアウト	250km
8/ 22~23	第4戦/ツインリンクもてぎ	ノックアウト	250km
9/ 12~13	第5戦/オートボリス	ノックアウト	250km
10/ 17~18	第6戦/スポーツランドSUGO	ノックアウト	250km
11/ 7~8	第7戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	2レース制

8. スポーツランドSUGO インターナショナルレーシングコースについて

コース全長は3.704km、宮城県仙台郊外の山間部にあり、その地形を生かした高低差の大きな右回りのテクニカルサーキットです。特に、最終コーナーからホームストレートにかけて10%の登り勾配をマシンが駆け上がってくる姿が、大きな特徴として知られています。また、このコースは平坦な場所がなく、常に登り、下りの繰り返しが続く連続し、前半はコーナーが連続するテクニカルセクション、後半は迫力がある中高速セクションとなっております。

2015年全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ第6戦 スポーツランド SUGO 大会 エントリーリスト

(シャシー:SF14、タイヤ:ブリヂストン)

No.	ドライバー	生年月日 出身地	チーム 監督	エンジン
1	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	1985.1.11 日本 愛知県	PETRONAS TEAM TOM'S (ペトロナス・チーム・トムス) 舘 信秀	TOYOTA R14A
2	アンドレ・ロッターレ Andre Lotterer	1981.11.19 ドイツ		
3	ジェームス・ロシター James Rossiter	1983.8.25 イギリス	KONDO RACING (コンドー レーシング) 近藤 真彦	TOYOTA R14A
4	ウィリアム・ブラー William Buller	1992.9.17 イギリス		
7	平川 亮 Ryo Hirakawa	1994.3.7 日本 広島県	KYGNUS SUNOCO Team LeMans (キグナス スノコ チーム ルマン) 土沼 広芳	TOYOTA R14A
8	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	1986.9.13 日本 兵庫県		
10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	1986.11.20 日本 栃木県	REAL RACING (リアル レーシング) 金石 勝智	Honda HR-414E
11	伊沢 拓也 Takuya Izawa	1984.6.1 日本 東京都		
16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	1988.7.11 日本 栃木県	TEAM 無限 (チーム ムゲン) 手塚 長孝	Honda HR-414E
18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	1991.7.25 日本 東京都	KCMG (ケーシーエムジー) 土居 隆二	TOYOTA R14A
19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	1981.7.13 ブラジル	LENOVO TEAM IMPUL (レノボ チーム インパル) 星野 一義	TOYOTA R14A
20	アンドレア・カルダレリ Andrea Caldarelli	1990.2.14 イタリア		
34	小暮 卓史 Takashi Kogure	1980.8.1 日本 群馬県	DRAGO CORSE (ドラゴ コルセ) 道上 龍	Honda HR-414E
38	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	1981.4.23 日本 東京都	P.MU/CERUMO-INGING (プロミュー/セルモ・インギング) 立川 祐路	TOYOTA R14A
39	国本 雄資 Yuji Kunimoto	1990.9.12 日本 神奈川県		
40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	1989.9.15 日本 茨城県	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ チーム ダンテ'ライアン レーシング) 村岡 潔	Honda HR-414E
41	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	1977.1.14 インド		
64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	1989.1.29 日本/愛知県	NAKAJIMA RACING (ナカジマレーシング) 中嶋 悟	Honda HR-414E
65	ベルトラン・バゲット Bertrand Baguette	1986.2.23 ベルギー		

2015年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ シリーズポイントランキング

ドライバーズ・ポイントランキング

Po.	No.	Driver	Points	Gap	4/19	5/24	7/19	8/23	9/13	10/18	11/8
					SUZUKA Rd.1	OKAYAMA Rd.2	FUJI Rd.3	MOTEGI Rd.4	AUTOPOLIS Rd.5	SUGO Rd.6	SUZUKA Rd.7-1
1	38	石浦宏明	45		4	11	6	11	9	4	
2	1	中嶋一貴	39	-6	8	—	8	8	10	5	
3	2	A.ロッテラー	31	-14	10	1	4	5	0	11	
4	19	J.P.デ・オリベイラ	31	-14	5	4	10	6	4	2	
5	8	小林可夢偉	17	-28	0	8	0	0	6	3	
6	16	山本尚貴	17	-28	1	5	0	1	2	8	
7	40	野尻智紀	17	-28	1	6	1	3	0	6	
8	7	平川亮	11	-34	0	0	3	2	5	1	
9	64	中嶋大祐	7	-38	3	0	0	4	0	0	
10	41	N.カーティケヤン	6	-39	6	0	0	0	0	0	
11	39	国本雄資	6	-39	0	0	5	0	1	0	
12	3	J.ロスター	5	-40	0	0	2	0	3	0	
13	20	A.カルダレッリ	4	-41	0	3	1	0	0	0	
14	11	伊沢拓也	4	-41	2	2	0	0	0	0	
15	10	塚越広大	0	-45	0	0	0	0	0	0	
16	18	中山雄一	0	-45	0	0	0	0	0	0	
17	34	小暮卓史	0	-45	0	0	0	0	0	0	
18	4	W.ブラー	0	-45	0	0	0	0	0	0	
19	65	B.バゲット	0	-45	0	0	0	0	0	0	
20	1	大嶋和也	0	-45	—	0	—	—	—	—	

※太字は優勝、下線はP.P.

全戦が有効

チーム・ポイントランキング

Po.	No.	Team	Points	Gap	4/19	5/24	7/19	8/23	9/13	10/18	11/8
					SUZUKA Rd.1	OKAYAMA Rd.2	FUJI Rd.3	MOTEGI Rd.4	AUTOPOLIS Rd.5	SUGO Rd.6	SUZUKA Rd.7-1
1	1,2	PETRONAS TEAM TOM'S	69		18	1	12	13	10	15	
2	38,39	P.MU/CERUMO-INGING	48	-21	4	10	11	10	9	4	
3	19,20	LENOVO TEAM IMPUL	34	-35	5	7	10	6	4	2	
4	7,8	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	28	-41	0	8	3	2	11	4	
5	40,41	DOGOMO TEAM DANDELION RACING	23	-46	7	6	1	3	0	6	
6	16	TEAM 無限	16	-53	0	5	0	1	2	8	
7	64,65	NAKAJIMA RACING	7	-62	3	0	0	4	0	0	
8	3,4	KONDO RACING	5	-64	0	0	2	0	3	0	
9	10,11	REAL RACING	4	-65	2	2	0	0	0	0	
10	18	KCMG	0	-69	0	0	0	0	0	0	
11	34	DRAGO CORSE	0	-69	0	0	0	0	0	0	

全戦が有効

※このランキング表は、SFウェブサイト制作班が計算した非公式なものです。

■選手権ポイント	順位	順位								
		Rd.	1	2	3	4	5	6	7	8
予選	1-7	1								
	1-6	10	8	6	5	4	3	2	1	
レース	7	5	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	
	7	3								

☆ドライバーズポイント

全戦の予選と決勝レースのポイントを合計する。
第7戦鈴鹿に限り、第1・第2レースの勝者には通常ポイントとは別に3ポイントが与えられる。

☆チームポイント

各チームに所属するドライバーの決勝ポイントを合計。2台以上の車両が所属する場合は、上位2台分を合計。チームポイントには、予選のポイントは与えられない。
※複数のドライバーまたはチームが同ポイントの場合、1大会の高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。

— 開催概要 —

- 大会名称： 2015 全日本選手権スーパーフォーミュラ第6戦 スポーツランドSUGO
- オーガナイザー： 株式会社菅生
菅生スポーツクラブ (SSC)
- 公認： 国際自動車連盟(FIA)
一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 認定： 株式会社日本レースプロモーション(JRP)
- 後援： 公益社団法人 宮城県観光連盟／村田町／河北新報社／名取市
- 同日開催： 2015 全日本フォーミュラ3選手権 第16戦・17戦
JAF菅生スーパーFJ選手権 第5戦
GAZOO Racing Netz Cup Vitz 2015 東北シリーズ 第3戦
N-ONE OWNER'S CUP 2015 Rd. 9

【TV放映予定】

■ J SPORTS

全7戦の予選と決勝の様様をライブ中継。その他、再放送やレースダイジェスト番組も放送。

- ・予選放送: 2015年10月17日(土) 13:30～15:30(生放送) : JSPORTS 1
- ・決勝放送: 2015年10月18日(日) 14:00～17:00(生放送) : JSPORTS 3
- ・ダイジェスト: 2015年10月29日(木) 23:40～24:00 : JSPORTS 1

■ フジテレビ

- ・結果紹介: 10月18日(日)フジテレビ「すぽると！」全国ネット(予定)

■ BSフジ

全7戦のレースハイライトとドライバー・チームに焦点をあてたミニドキュメンタリー番組「スーパーフォーミュラ Go On！」を放送。

- ・本放送: 2015年10月23日(金) 24:10～25:05
- ・再放送: 2015年10月30日(金) 24:40～25:35

■ フジテレビCS放送「フジテレビNEXTライブ・プレミアム」

全7戦のレースハイライトと、参戦ドライバーをゲストに迎えて、スーパーフォーミュラの魅力や、ドライバーの本音などを楽しくお届けするスタジオトーク番組「スーパーフォーミュラTV」を放送。インターネット有料チャンネル「フジテレビNEXTsmart」でも同時配信

- ・本放送: 2015年10月23日(金) 22:30～23:00
- ・再放送: 2015年10月26日(月) 03:00～03:30

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

BRIDGESTONE

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

セディナ

日 人 気 酒 造
NINKI-ICHI

■ WAKUWAKU JAPAN

海外(インドネシア・ミャンマー・シンガポール)で日本の番組が見られるエンターテインメントチャンネル。全ての番組が現地の言葉で視聴可能。スーパーフォーミュラは全7戦の英語版ダイジェストを放送。

・本放送: 2015年11月22日(日)24:00～

・再放送: 2015年11月23日(月)12:00～

※WAKUWAKU JAPANについての詳しい内容・視聴方法はオフィシャルウェブサイト<http://idn.wakuwaku-japan.tv/ja/>をご確認ください。

※各番組の詳しい放送スケジュールについては、各番組オフィシャルウェブサイト、もしくは「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」(<http://www.superformula.net/>)をご確認ください。

○ 映像の配信

■ GYAO!

大会終了10日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信。

配信映像は無料動画ステーションGYAO!オフィシャルページ(<http://gyao.yahoo.co.jp/p/00830/v09524/>)から視聴可能です。

※配信日時は変更となる場合があります。

■ YouTube

予選ならびに決勝の競技映像をダイジェスト版にて当日夜配信。

※配信日時は変更となる場合があります。

詳しくは予選ならびに決勝日の夜、「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」(<http://www.superformula.net/>)をご確認ください。

*この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社日本レースプロモーション(<http://www.superformula.net/>)

102-0074東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル

Tel:03-3237-0131 Fax:03-3237-0135

広報担当: 中野 聖二 携帯電話:090-7203-1623

e-mail:media@jrp-inc.net

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

BRIDGESTONE

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

セディナ

日 人 気 酒 造
NINKI-ICHI



2015 Japanese Championship SUPER FORMULA Series Round 6
2015 全日本選手権 スーパーフォーミュラシリーズ 第6戦

2015 全日本フォーミュラ3選手権 第16戦・第17戦
 GAZOO Racing Netz Cup Vitz Race 2015 東北シリーズ 第3戦
 N-ONE OWNER'S CUP Round 9/JAF 菅生 スーパーFJ選手権 第5戦

10/17 sat 18sun

全日本

120

主催：株式会社菅生/菅生スポーツクラブ(SSC) 公認：一般社団法人 日本自動車連盟(JAF) 後援：公益社団法人 宮城県観光連盟/村田町/名取市/河北新報社

主催：(株)菅生/菅生スポーツクラブ(SSC)



2015 全日本選手権
 スーパーフォーミュラシリーズ 第6戦 決勝レース 正式結果表

START : 14:33
 FINISH : 15:50
 発表 17:00

2015.10.18 SUGO INTERNATIONAL RACING COURSE (3.704256km)

天候：晴れ

コース状況：ドライ

Pos	No.	Driver	CarName	Type	Laps	Time	Delay	Ave.km/h	Fastest Lap
1	2	アンドレ・ロッチェー	PETRONAS TEAM TOM'S SF14	TOYOTA R14A	68	1h17' 52.551		194.070	1'07.504 43
2	16	山本 尚貴	TEAM 無限 SF14	Honda HR-414E	68	1h18' 16.432	23.881	193.083	1'07.864 56
3	40	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M40S SF14	Honda HR-414E	68	1h18' 17.217	24.666	193.051	1'07.472 50
4	1	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S SF14	TOYOTA R14A	68	1h18' 18.004	25.453	193.019	1'07.999 43
5	38	石浦 宏明	P.MU/CERUMO-INGING SF14	TOYOTA R14A	68	1h18' 20.922	28.371	192.899	1'07.843 45
6	8	小林 可夢偉	Team KYGNUS SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	68	1h18' 40.097	47.546	192.115	1'08.219 19
7	19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ	LENOVO TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	68	1h18' 40.719	48.168	192.090	1'07.965 30
8	7	平川 亮	ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	68	1h18' 42.338	49.787	192.024	1'08.159 24
9	10	塚越 広大	REAL SF14	Honda HR-414E	68	1h18' 45.730	53.179	191.886	1'08.341 53
10	18	中山 雄一	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	68	1h18' 46.187	53.636	191.868	1'07.664 55
11	34	小暮 卓史	DRAGO CORSE SF14	Honda HR-414E	68	1h18' 47.099	54.548	191.831	1'07.858 64
12	64	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-414E	68	1h18' 48.354	55.803	191.780	1'08.260 64
13	41	ナレイン・カーティケヤン	DOCOMO DANDELION M41S SF14	Honda HR-414E	68	1h18' 49.315	56.764	191.741	1'07.726 38
14	3	ジェームス・ロスター	FUJI×D'station KONDO SF14	TOYOTA R14A	67	1h18' 00.359	1 Lap	190.897	1'07.857 64
15	4	ウィリアム・ブラー	FUJI×D'station KONDO SF14	TOYOTA R14A	67	1h18' 14.369	1 Lap	190.327	1'08.296 57
16	20	アンドレア・カルダレッリ	LENOVO TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	67	1h18' 40.768	1 Lap	189.263	1'07.703 61
17	39	国本 雄資	P.MU/CERUMO-INGING SF14	TOYOTA R14A	67	1h18' 55.758	1 Lap	188.664	1'08.254 32
18	65	ヘルマン・バゲット	NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-414E	66	1h18' 41.438	2 Laps	186.412	1'08.370 57
----- 以上完走 -----									
	11	伊沢 拓也	REAL SF14	Honda HR-414E	50	59'03.025	18 Laps	188.191	1'08.513 17

参加台数：19台 出走台数：19台 完走台数：18台

ベストラップ： 40 野尻 智紀 1'07.472 50/68 197.642km/h

計時委員長

大会競技長

審査委員長

(佐藤 和則)

(大谷 保志)

(御手洗 考)

本大会にて実施したドーピング検査の分析結果により、JAFが競技結果成績に訂正を行うことがあります。

Series Partner	HONDA	TOYOTA	Series Supporter	BRIDGESTONE	Promotion Partner	HITACHI Inspire the Next	J SPORTS	セディナ	総代理店
----------------	--------------	---------------	------------------	--------------------	-------------------	------------------------------------	-----------------	------	------